

山江村議会だより

# Maruoka

No.85

こんにちは あかちゃん

【特集】  
地方創生臨時交付金の使い道



### 写真の説明

むら そうすけ  
村 湊佑くん 令和4年5月10日生

3兄弟の末っ子です。お兄ちゃん、お姉ちゃんがずっとそばにいて可愛がってくれます。これからも家族みんなで、明るく笑顔で過ごそうね！

### 目次

- |                |      |
|----------------|------|
| ○特集「地方創生臨時交付金」 | P2   |
| ○令和4年6月議会定例会   | P3   |
| ○一般質問          | P4～7 |
| ○編集後記「だんだんなあ」  | P8   |

令和4年7月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

# 【特集】

国の支援策 新型コロナウイルス感染症対応

## 地方創生臨時交付金が追加！

令和4年6月29日、山江村議会6月臨時会が開催され、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加に伴う、補正予算が可決しました。今回の国の追加については、コロナ対策に加え、原油物価高騰に対する支援も可能となり、村独自の支援政策が盛り込まれました。主なものは以下の通りです。

### 保育所等副食費支援金事業

村内在住の3歳児以上の未就学児の保護者に対し、保育所の令和4年度分の副食費を交付するもの。

### 物価高騰生活給付金

原油価格・物価高騰により影響を受けている住民に対する給付金の支給。令和3年度世帯一人当たり所得200万円未満の住民に対し、1万円の給付をするもの。

#### 【例】

父



母



子



子の妻



孫



孫



R3年度の  
所得

0円

0円

500万円

400万円

0円

0円

上記の6人家族の場合、子と子の妻の所得合計が900万円となる。

$900万円 \div 6人 = 150万円$

給付対象が一人当たり200万円未満であるから、上記家庭は該当し、 $1万円 \times 6人 = 6万円$ の支給となる。

### 畜産農家経営継続支援

畜産物の需要減少に伴う価格低下、原油高騰に伴う飼料の高騰を受け、経営継続の支援をするもの。

肉用牛（母牛）2万円/頭、 肉用牛（子牛）1万円/頭、  
乳用牛（母牛）2万円/頭、 乳用牛（子牛）1万円/頭、  
鶏1万円/100羽

令和4年6月議会定例会が、6月8日から10日までの3日間の会期で開催した。

村執行部より提案された議案は、令和3年度繰越明許費など29議案が提案された。1日目は報告、提案理由説明の後、議案審議を行った。2日目には一般質問で4名の議員より通告があり村執行部へ一般質問を行った。

(内容は後述)  
またその後専決処分事項の承認(一般会計及び特別会計)9件を承認した。

最終日に採決となったが、令和4年度一般会計予算への修正動議が発議され、賛成多数で可決、その他の議案についてはすべて可決となり、閉会した。



## 可決した主なものは

### 山江村教育委員会教育長の任命に関する同意

教育長の任命に関する人事案件であり、これまで2期務めてこられた、藤本誠一氏を再任することに決定した。

### 山江村固定資産評価員の選任に関する同意

4月の人事異動に伴い、現税務課長の迫田教文氏を同意することに決定した。

### 山江村すまいの安全確保支援事業補助金交付条例の制定

令和2年7月豪雨による被災者で、決められた条件を満たした方に、移転や現地において再建する費用を補助するもの。

### 山江村国民健康保険税条例及び山江村介護保険条例の一部を改正するもの

新型コロナウイルス感染症対策として、保険税及び保険料の減免措置が令和3年度までだったものを令和4年度まで延長するもの。

## 《再度発議》令和4年度一般会計補正予算修正動議における質疑討論

令和4年度一般会計補正予算において、3月議会定例会に引き続き、5名の発議者により修正議案が提出された。内容は、親水公園整備構想委託料3百万円を削減するもの。それに対する質疑、討論がなされ、賛成多数で可決した。

**質** 赤坂議員：説明の中で、万江地区30件ほど意見を聞いたとあるが、無作為の30件か。他町村の議長、副議長からも批判があったとのことだが説明を。

**答** 横谷議員：意見を聞いて回ったのは無作為。他町村の議長・副議長からは批判の言葉ではなく意見。

質疑の後、討論となり、「復旧復興と同時進行するべきでは」、「復旧復興の工事が終わってからなら遅すぎるのではないか」等の反対討論がなされたが、「現在水田等もできない状態である。時期尚早」、「まずは全力で復旧復興を進めてもらいたい。」「もう少し現状が見えてきてから。」などの賛成討論の末、下記採決となった。

### 採決 (起立採決)

議員名	本田 りか	久保山 直巳	中村 龍喜	赤坂 修	森田 俊介	横谷 巡	立道 徹	西 孝恒	中竹 耕一郎	秋丸 安弘
賛否	×	×	○	×	○	○	○	○	—	×

賛成：○、反対：×、採決に加わらない：—



本田 りか 議員

## 分別ゴミについて

## ヤングケアラーについて



ゴミ分別や  
リサイクルの現状は

**問**

ゴミ分別の種類と家庭から出る年間のゴミの量、負担額を伺う。

**答 健康福祉課長**

令和3年度は、可燃ゴミ658t、不燃ゴミ41.4t、粗大ゴミ13.8t、資源ゴミ90.1t、合計約803tである。

令和3年度の赤池ゴミ処理施設負担金3,255万4,000円、相良埋立処分場負担金2万円、負担金合計、3,257万4,000円である。

委託料は、資源及び不燃物の収集業務委託量114万円、可燃物の収集業務委託料186万円、収集業務の委託料合計は300万円である。  
負担金及び委託料合計3,557万4,000円となる。

**問**

山江村でのリサイクル活動を伺う。

**答 健康福祉課長**

業務委託契約の事業所が、資源ゴミの日に分別収集を行う。個人や事業所が直接持ち込む場合は、リサイクル専門業者へ売却となる。本村では、食用油の回収を行っており、健康福祉課保健衛生係の窓口に回収窓口を設置している。



ヤングケアラーに関する事業は

**問**

山江村での調査方法を伺う。

**答 教育長**

令和4年度当初に村内の小学校の5年生から中学校3年生までの全児童生徒を対象に学校生活の状況等も含めアンケートを行ったが、該当する児童生徒はいなかった。今後もヤングケアラー等については適切に対応していく。

**問**

健康福祉課で予定されている事業はないか。

**答 健康福祉課長**

令和4年度事業として、子育て包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点事業を一体的に行う計画

で、相談体制の整備と、相談者が役場ロビー等を通らずに入室できる様な相談室の整備を行い、行政や教育機関、その他の関係機関が連携し子供とその保護者の生活をそれぞれの立場から支援していく。





西 孝恒 議員



## 防災対策(自然的災害)の取り組み状況について

### 村内各体育館の管理状況について

#### 防災対策について！

**問**

令和2年7月豪雨では大量の土砂流出で川が埋まった状態となった宇那川の上流山林の現状と対策について。

#### 答 産業振興課長

民有林で保安林の指定となっている。伐採するには許可が必要であることから県へ伐採届が提出され実施されている。また次世代へ繋がる球磨の森造りルールガイドブックを遵守され跡地には計画的な植林を令和6年3月迄に完了することになっている。施業完了時は県でも現地の確認が行われると聞いている。

**問**

雨季に備え住民への情報周知と河川の状況把握に関する整備状況について。

#### 答 総務課長

情報周知については新たな取り組みとして、情報システムを整備し村民の方へも活用を促している。また過去のデータから今後の災害への備えとして復興ポータルサイトも開設したので活用頂きたい。予報関係では気象台から線状降水帯の予報情報が提供されるようになった。この情報を速やかに住民の方々へ周知し、早めの避難行動が図れるようになる。河川の水位状況は柳野、淡島、屋形地区に水位計と監視カメラが設置され、ネット環境があれば閲覧できる。

**問**

災害時の情報連絡伝達手段の確保や個別受信機の設置率、また避難行動要支援者の方々の対応について。

#### 答 産業振興課長

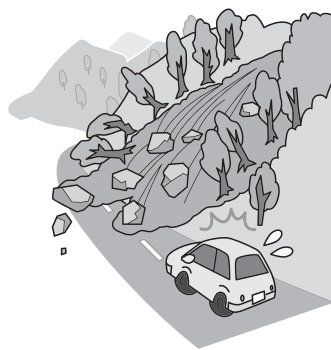
情報伝達手段については現在効率的な災害に強い情

報伝達の整備に向けて検討している。また個別受信機の設置率は85.5%で17世帯の方が未設置となっている。避難行動要支援者の方々については、各区長、消防団とも連絡を行い、各地区では自主防災組織の中で対応頂いている。人的災害を出さないよう避難行動の支援に努めている。

避難行動要支援者の方々については、各区長、消防団とも連絡を行い、各地区では自主防災組織の中で対応頂いている。人的災害を出さないよう避難行動の支援に努めている。

**問**

雨季を迎えて村道の側溝や支障木など管理状況について。



#### 答 建設課長

重機など使用して行う直営作業に併せて外部にも委

託して維持管理に努めている。毎年4月から5月にかけて集中的に側溝や集水耕の清掃に取り組み出水期に備えている。

#### 村内各体育館の管理状況は！

**問**

各体育館の健全度や床の状況について。

#### 答 教育課長

令和2年に長寿命化計画を策定した。山江村体育館は築36年、健全度46点であった。

山田小体育館は築45年、健全度は29点で劣化が見られ床は部分的に傷が入っている。山江中体育館は築16年、健全度は60点で他より高いが屋根や外壁の劣化や床には部分的に傷がある状況。現時点で床の改修予定はないが、財政状況を考慮し優先順位を設け施設の長寿命化に努めて行く。



久保山 直巳 議員

## 本村小規模多機能ホームのサービス内容変更の理由と対応は！



## 各行政区ゴミステーション建設時の助成制度の有無は！

本村小規模多機能ホームについて

**問**

本年の小規模多機能ホーム山江村指定事業所「黎明館」について村民の方よりサービス内容が変わったと聞くが現在の状況を伺う。

**答** 健康福祉課長

登録定員29名、通いサービス利用定員は15名、宿泊サービス利用定員が9名である。

現在の宿泊利用状況については、水曜日のみ、最も多い日で一晩に3名の方が宿泊利用されている。

**問**

宿泊サービスを週1回水曜日ということで、極端に少ないように思うが、その理由と、今後その業務体制を続けられるのか伺う。

**答** 健康福祉課長

令和3年度中に黎明館の職員3名の方が立て続ぎに退職された。

水曜日以外も緊急な場合は同系列の事業所から従業員が駆けつけ宿泊対応できるような体制を整えておられる。

従業員数の確保についても企業側の更なる努力をお願いしながら、村行政としても急ぎ事業所とのヒアリングを行わせていただき、協力支援していく。

行政区ゴミステーションについて

**問**

本村には90力以上のゴミステーションがあると聞いているが、老朽化もすすんでいる。過去にゴミ置場建設にあたって村行政より助成金制度があったか伺う。

**答** 健康福祉課長

これまで地域で建設、管理をお願いしており、ゴミステーションの建設、立て替えに特化した助成制度は現在までに整備していない。

**問**

ゴミ増量により、現在のゴミステーションは手狭となり、老朽化など立て替えの時期がきているところもある。行政区の少子高齢化、核家族化等での班員の

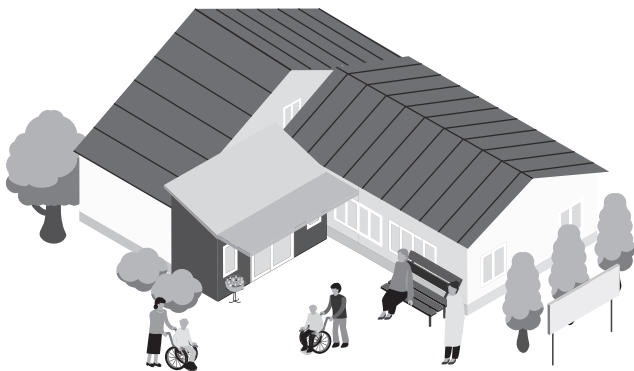
減少、一人暮らしの増加、班編制の見直しも必要となる。

そのことによりゴミステーションの立て替え問題も出てくる。村行政より支援いただけないか伺う。

**答** 総務課長

行政区を単位とした、自立した持続可能な地位を形成するための事業に要する経費の一部を助成する、地域自立支援事業補助金がある。今年度は国の補助金を活用している。

この補助金を活用されたい場合は相談をいただければと思う。





立道 徹 議員



## 事業計画の業務委託について

### 業務委託業者への要望は

#### 問

現場、現状にあわず、結果が伴わず実現できない事業もあるのではないかと、黒原地区のワイヤーメッシュ柵・新層地区の栗の新植について

#### 答 産業振興課長

黒原地区は、山村活性化支援交付金にてタケノコを有害鳥獣から守るために、ワイヤーメッシュ柵を設置した事業で、令和2年の7月豪雨で、現場まで行けない状況であった。村道復旧後には、現地に入って適正な管理をお願いしたい。新層地区（川辺川造成団地内）の栗の新植は、地方創生交付金を活用し、3力年（平成30年度〜令和2年度）実施。収穫量の増加と担い手の確保を目的として、3年で5.4ヘクタール、約3、

500本植栽していて、1力所だけ、管理不十分があったが、管理をする方を捜して、新たに管理をしている。

#### 問

業務委託業者へは、丸投げか、要望・要求・指導はされるのか。

#### 答 産業振興課長

委託業者選定は、プロポーザル方式で、やりたいことを実現し、提案してくれる委託業者を選考委員の方で採点し、決定している。

#### 問

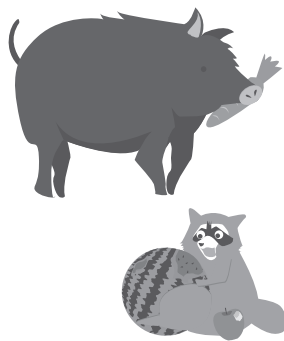
村の活性化は、職員の双肩にかかっている。自主性・創造力・企画力を生かし、現場住民との連携により、現場重視した事業計画を練り上げることにより成果が伴うと考えるが。

### 答 村 長

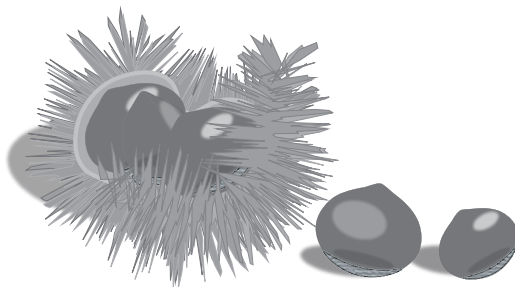
役場は組織であり、ピラミッド型で動いており、方針・方策は、指示をしている。村民主役として現場の村民の声を聞き、取り組んでいる。また、職員の能力を発揮するため自己評価の計画書を作り、共有し、自分で気づき、自分で動く取り組みをしている。



黒原地区：ワイヤーメッシュ柵状況



深層地区：栗の新植状況



※他に「復興ポータルサイトについて」「ほたるの物産館ペーパースト加工施設について」「村道の維持管理について」質した。

# 議員活動の一コマ



令和4年7月21日、公共施設の在り方に関する調査特別委員会視察研修のため、玉名市及び和水町で有効活用されている公共施設を視察研修してきました。



令和4年7月28日、令和5年度主軸事業要望活動として、金子総務大臣及び松村参議院議員（当日は秘書の方が対応）、馬場参議院議員、進藤参議院議員にお会いし、村の現状と令和5年度事業に向けた要望を行ってきました。



## だんだんなあ

今も変異を続けながら感染力も強く猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症ですが、誰にも正解が解らない対策に村民の方々を含め誰もが不安視されておられることでしょう。

さて、令和2年の豪雨災害から2年が過ぎ去り、復旧半ばで、これから台風本番となります。皆様におかれましては的確な情報の確認と早めの避難、及び、「命を守る行動」をとって頂きます事を願っております。

最後になりますが、前回号より一般質問のページにQRコードが付きまして。携帯電話でも視聴できますので、どうぞご利用下さい。

これを機に是非、若い世代の方々にも議会に興味を持って頂き、御意見を寄せ頂くと幸いです。

(文責 本田りか)

【山江村議会広報編集特別委員会】  
 委員長／赤坂修  
 委員／久保山直巳  
 中本田りか  
 村龍喜